

小規模多機能型居宅介護

令和2年度 「サービス評価」公表資料

たきのーほーむ



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 11 月 18 日 (水) (17:30~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 土肥、井口、宮永、加治、ザン、三宅、濱田、山岸、荻阿曾、関軒、坂井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	9 人	2 人	0 人	0 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉が足りなかった」「受け手の解釈が違った」等コミュニケーションが不十分である為、コミュニケーションスキルを上げる努力が必要。情報を共有しようとする認識不足がありチームワークから外れ、個人プレーで終始してしまう事があり、情報を共有しなければならない事を周知する必要がある。 ・本人様・ご家族様との関わりを大切に、信頼関係の構築を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルを上げるため、職員間の声掛けを意識して、会議などで話し合っって実行した。職員間のコミュニケーションは、意識づけができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	3	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	9	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	3	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の情報は、スタッフ会議・朝礼・夕礼等で周知されている。 ・利用者様の状態に応じた声掛け、見守りが出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族とのコミュニケーションがあまりされていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に対応 (家族の方と) 連絡帳の活用をしているが、御家族様との交流を多くし、信頼を深める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 11 月 18 日 (水) (17:30~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 土肥、井口、宮永、加治、ザン、三宅、濱田、山岸、荻阿曾、関軒、坂井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	9 人	2 人	0 人	0 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしを 10 個以上言えるようになるために、その方を知る必要がある。体調の変化に関しては、通常のその方の通常の状態を把握する。通常よりもどうかを見ていく。(血圧の低い人もいれば高い方もいる。) スタッフ同士で情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの際、利用者様の状態、変化をきちんと伝えることによりいつもよりどうかということが分かり、少しの変化でも気づけるようになる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	6	4	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	3	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	5	3	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	3	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の体調の変化・気持ちの変化等、気づいた事はスタッフ同士で共有できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしの情報がわかっていない。 ・利用者様とゆっくり関わる時間が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・時間を作り、利用者様ひとりひとりゆっくりと情報を聞き出す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2 年 11 月 18 日 (水) (17:30~20:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	土肥、井口、宮永、加治、ザン、三宅、濱田、山岸、荻阿曾、関軒、坂井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	3 人	0 人	0 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・資源マップや以前の暮らし、アセスメントでの馴染みの場所・馴染みの店・馴染みの人を多く知る必要がある。利用者様との関わりから本人の言葉を記録に残し、思いや気持ちを理解し、実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の資源マップが、まだ完成していない。情報を知っていても紙に記録することができていない。今後も継続が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	5	3	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	1	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	6	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	2	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを重ね、利用者様の変化や状態を共有し、ニーズに合わせた支援が出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との資源の利用は一部出来ているが、積極的な働きかけが出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との関わりがすくない。 ・今年はコロナ禍の為、イベント中止が多く、地域へ出ていく事が無かった。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 11 月 18 日 (水) (17 : 30 ~ 20 : 30)

7. 運営

メンバー 土肥、井口、宮永、加治、ザン、三宅、濱田、山岸、荻阿曾、関軒、坂井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	5 人	4 人	0 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中に溶け込んでいける様、取り組みを行う。地域の中に私たちから溶け込める工夫をしていく必要があります。待つばかりではなく地域に出向き地域を知ること。具体的には、地域の方々に意見を聞くご意見箱を駄菓子屋に設定する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンや、地域に出張駄菓子屋を行っていましたが、コロナでサロンが休みにになり出向くことができなかった。ご意見箱も設置値は、まだできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	5	2	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	3	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	2	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	4	3	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ほ一む理念である、一人ひとりの願いや思いに沿った介護の実践が来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働した取り組みを行う事が出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが終息すれば、積極的に地域・イベントに参加する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 11 月 18 日 (水) (17:30~20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 土肥、井口、宮永、加治、ザン、三宅、濱田、山岸、荻阿曾、関軒、坂井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	3 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の訴えにすぐに対応できない場合は、理由を説明し理解していただき、後に対応する事。 ・個人情報のバイндナーは、見たら鍵のかかる柵に戻す。3つのロック・ドラッグロック・フィジカルロック・スピーチロック。もっとも行ってしまうのは、スピーチロック、その方の行動を妨げる声掛けには言わないよう気をつけていく。「ちょっと待って・・・」等、今いけない理由を説明し、納得していただく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士、気を付けて「ちょっと待って」を、言わないよう説明することが大体できた。まだまだ、言ってしまう場面もあるが、その都度説明を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	7	3	1	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	1	8	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや入浴の際のプライバシー保護に努めている。 ・身体拘束・虐待行為に繋がらないように心掛けている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度は活用出来ていない。今のところ必要ない為。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の訴えにすぐに対応できない場合は理由を説明し理解して頂き後に対応する事 ・成年後見人制度の仕組みを十分理解し、いざという時には活用できるように心掛ける。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人弘和会	代表者	理事長 畝 和弘	法人・事業 所の特徴	1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。 2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。 3.認知症と言う病気の理解を深める為、外部の研修に出たり、内部で勉強会をしています。 4.認知症キャラバンメイトの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアについての研修の講師をさせていただきます。 5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って生き活きできる時間を大切にします。
事業所名	たきの一ほ一む 風和里	管理者	森川 みなこ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	5人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	11人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・風和里での活動報告や地域での役割等、もっと伝えていく。	R2年6月より、新体制の運営推進会議参加者になり、まだまだお伝えしていく必要がある。	自己評価で取り組みは確認できている。	1年を通して9項目が「できている」になるよう実践を行い小規模多機能らしさを実現するために行動していきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所の中の細かな説明をしながら見学していただく。ほ一むに気軽に来れるよう工夫をしていく。	1度、風和里を見学していただきました。コロナ禍の中で、中々できないこともありました。	入りやすい工夫や居心地の良さは、わかりにくい。	ご家族や地域の方が気軽に来いただける工夫や、居心地の良さの環境づくりをスタッフと考えていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・まだまだ地域の中に溶け込んでいないので、地域に出向き顔馴染みの関係ができるよう関りを持つ。	段々と名前は知っていただいています。コロナ禍の中で、地域のイベント等が中止や規模縮小ということがあったため出向けなかった。	コロナ禍でイベントや行事が中止になり、難しかったのではないかな。	できる限り地域に出向いていけるよう感染対策を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・在宅で暮らしていくための小規模多機能を理解していただけるよう説明し、事例等を報告していく。	開催もできない月もあり、事例までは報告できていない。事業所は、コロナ禍でもできる限りストレス軽減に努めました。	事業所がどんなことをするところだとか、内容がまだわからない方がいるのではないかな。	小規模の実践事例を通して理解していただく。コロナ禍でも、密を避け感染対策を行いながら、本人様を地域で支えていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で話されたことは、スタッフ全員で共有していき、地域の意見も取り入れていく。	運営会議での内容は、職員に申し送りを行い、意見等は取り入れて改善を	まだまだ、わからないことがあるので、色々な形で説明していってはどうかな。	民生委員の方々が集まる会議に説明等させていただく。運営推進会議で意見をいただく。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災計画を運営推進会議で、お伝えし理解を得る。災害時の避難場所をスタッフ全員が把握する。	防災計画をスタッフに説明し、共有しました。災害時の避難場所を伝える。運営推進会議ではお伝えできていない。	防災や災害時の内容はどのようになっているのか。また、そのような時はどうするのか。	防災計画を運営推進会議でお伝えし、理解を得る。また、地域での相談にも応じていく。